

ご担当者殿

下記、簡単に考え方を述べます。

基本 : 種地として、現時点で市場内で使われている駐車スペースを活用する。
駐車スペースを市場敷地外、具体的には隅田川上、へ仮設移転する。
* ここで駐車スペースは平置部分と立体（ビル）部分との双方を言う。

補足 : 以下、隅田川上への仮設駐車スペースの確保案を示す。

ジャケット式栈橋基礎（下部工）

羽田のD滑走路の栈橋部分に類似した、ジャケット式栈橋を構築する。
通常の杭式栈橋でも可能だが、撤去がジャケットの方が簡単である。
3年－5年程度の仮設であるので、防食などは羽田より軽微仕様にする。

立体駐車構造（上部工）

隅田川の航行幅を確保するため、平置ではなく、立体構造を採用する。
ジャケット式栈橋の施工後に構築するか、あるいは、ジャケットと一体で架設してもよい。

昇降方法

栈橋上にスロープを用いることも可能だが、勾配などでやや制約が大きい。
機械式（エレベータ）昇降装置は使用可能である。
あるいは、現在の築地市場北側、あるいは南側にスロープを構築する。

工事中用栈橋

なお、この栈橋は工事中用資機材の荷揚げ用としても活用できる。

環境改善効果

現行の駐車スペースは、市場に近接しており、アイドリングなどの環境影響が指摘されている。また、場内運搬車などとの交通混雑も指摘されている。
駐車スペースをいち早く、場内敷地から移転することで、現市場の環境改善が図れる。

以上